

2015年春の散策会

3月4日（水）午前、好天の下、天守閣の最も美しいアングル京橋口升圍いから大阪城内に入り、幅100mに近い堀際に屹立する壮大な石垣に目を見張り、紅梅、白梅が咲き乱れる城内梅林を散策「難波津に咲くやこの花冬ごもり今は春べと咲くやこの花」の古歌の心を満喫しました。さらに豊国神社前を経て天守閣前広場では明治天皇が発布した教育勅語の碑があり、高齢の各位は懐かしく読み返し「まだ帝国主義の思想は読み取れないなあ」との感想を持った次第。お城を出て難波宮大阪歴史博物館レストランにて昼食をとりました。午後は博物館地下10mあたりで発掘された1370年前の難波の宮の発掘跡を見学、未だ礎石に柱を立てる工法が大陸から伝わっていないため、掘っ立て柱の穴が縦横無数に並んでいるのが見られました。

美しい梅林-難波の花-と70年前の大空襲にも奇跡的に壊滅を免れた大阪の歴史遺跡を目の当たりにし感動を新たにしました。以上、案内役はいわば城下町にお住まいの萩原理一、当会顧問にお願いした次第です。

WEEK END ともなると群衆の中にまぎれて観梅どころではなくなるとのことで、WEEK DAY の散策会としたため、予想されたことではありますが現役の若手会員諸兄は参加されず申し訳なくご容赦下さい。当日の参加者は萩原、吉岡、稲井（敬称略、S28年卒）、福田（同33年）、萩原、佐藤（同34年）、法貴、松岡（同35年）と平均年齢は80歳を越す老荘集団となりましたが、各位何れも健脚にて1万歩を気分よく散策することができました。

（色染昭35松岡謙一郎）





後列、左から：吉岡悠、萩原理一、稲井新太郎、福田雍弘、萩原章二
 前列、左から：法貴秀夫、佐藤忠孝



後列、左から：吉岡悠、萩原理一、稲井新太郎、福田雍弘
 前列、左から：法貴秀夫、佐藤忠孝、松岡謙一郎

